

ベトナム企業が、地元企業とともに取り組むIT課題の解決



NTQ Solution は、ベトナムのエンジニアによるシステム開発やシステムエンジニアリングサービスなどを提供する企業で、2016年2月に日本法人NTQ ジャパンを横浜に設立しました。同社は、営業活動における協力や、ソフトウェア製品の共同開発など、地元企業とのビジネス連携に積極的に取り組み、顧客のIT課題の解決を目指しています。



枝常執行役員 兼 セールス&マーケティング本部 本部長（左）と
地元企業との共同セミナー企画スタッフ（営業推進部 ホアン 永輝 氏）



ベトナムのシステム開発環境

話し手：株式会社NTQジャパン 枝常 伊左央 執行役員 兼 セールス&マーケティング本部 本部長

■地元企業との連携で、顧客満足の上を

当社は、横浜で日本法人を立ち上げた時から、地元のIT企業が加盟する団体や支援機関と接点を持つなど、地元企業との交流、連携に積極的に取り組んできました。

最近の例を挙げると、昨年、Webマーケティング・デザイン事業を行う横浜企業（株式会社BOTANICO）と、コロナ禍で多くの企業が対面での営業が困難になっている状況を踏まえ、「コロナに負けない最新Webマーケティング・開発事例紹介」というオンラインセミナーを共同開催しました。セミナーは、当社がシステム開発に関する説明を、BOTANICO社がWebマーケティングのトレンド・手法に関する説明をそれぞれ担当し、互いの強みを活かす形で実施しました。

セミナーそのものも反響があったのですが、セミナーの共同開催は、同社とのその後の関係強化にもつながり、当社の顧客からECサイト構築に関するオーダーがあった際には、同社と協力し、ECサイトのデザインや活用法に関するコンサルテーションという付加価値も提供できました。同社の担当者には、「外資系企業との連携は初めてだが、ベトナム人エンジニアの方とも日本語で自然なコミュニケーションができ、また、何より同じ横浜の企業なのでお付き合いしやすい」と言っています。今後も、同社と連携しながら顧客の幅広い要望に応えていきたいと思っています。

■日本ならではのIT課題の解決をパートナーとともに

当社の事業は、現状では、日本の顧客からの要求仕様に沿って本国（ベトナム）のエンジニアがシステム開発を行うという、いわゆる「オフショア開発」が大半です。こうした事業により、日本のエンジニア不足に対応、貢献できている部分もあるとは思いますが、我々は、ベトナム人エンジニアの高い技術力を、システム開発の下請作業に使うだけでなく、日本企業が抱えるIT課題の解決にこそぜひ生かしてほしいと思っています。

当社は、今年1月に、コロナ禍でのテレワーク環境を意識し、企業内のコミュニケーションに役立つソフトウェアの展開を始めたところですが、日本企業の課題解決につなげ、業務効率化に貢献していくためには、日本ならではの顧客事情や日本人のニーズ、トレンドを踏まえることが何より重要と考えています。

我々のホームページでは、「共同製品開発パートナー様募集」と掲げています。既に近隣地域の企業と共同でソフトウェア製品を開発した事例などもありますが、今後も、地元企業とパートナーとして連携し、互いの強みを活かしながら、日本ならではのIT課題の解決につながる製品、サービスを提供していきたいと思っています。

所在地：横浜市神奈川区金港町6-3 横浜金港町ビル3F
代表者：ファン タインナム
設立：2016年2月
事業概要：オフショア開発、SES（システムエンジニアリングサービス）事業
URL：<https://www.ntq-japan.com/>

株式会社NTQ ジャパン

※同社の横浜での日本法人設立にあたっては、横浜市、ジェトロ、神奈川県が連携して支援。
2017年2月～2019年8月まで横浜市の外資系企業向けインキュベーション施設に入居。
同社は、I・TOP横浜の会員企業。